参考資料

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

【 第１７７回 理事会 】

重点取組について

2023年度事業報告(案)

2024年 5月 8日

九州経済連合会　事務局

1 「新生シリコンアイランド九州」の実現

2023取組報告

KPI　半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開策の策定

● オール九州での戦略展開策の策定

■ 2023.10 九州地域戦略会議

産官学金が協議する場を設置し、課題等を整理することが承認された



■ 2024.1～3月 九州地域戦略会議の下に設けた産学金分科会・官分科会を開催

「新生シリコンアイランド九州」のグランドデザインを検討

・ビジョンや課題解決の方向性等を整理

● 半導体サプライチェーン強靭化に資する取組

■ 2023.4　岸田首相、西村経産大臣等との「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」へ出席





九州での投資拡大の現状を報告し、投資を支えるインフラ整備促進を要望

■ 「九州半導体人材育成等コンソーシアム」の取組への協力

・半導体人材の育成と確保
・企業間取引・サプライチェーンの強化
・海外との産業交流促進

結果　新生シリコンアイランド九州グランドデザイン素案策定

2024計画

活動　グランドデザイン確定、課題解決に向けたグランドデザインに基づく具体的取組み

台湾企業との協業支援、海外経済交流ミッションの派遣



新竹サイエンスパーク

KPI　グランドデザインに基づく具体的取組み開始

2024年度下期に実施し、協業モデルを構築



シリコンバレー

2 農業 輸出拡大、担い手確保、生産性向上の支援

2023取組

KPI

❶ 地元食品等産業の海外販路拡大支援 20 件

❷ 地域農業の担い手・関係人口拡大事例の創出

❸ スマート農業モデルの県への提案

● 海外小売店での九州フェア

by「九州の食輸出協議会」
〈事務局:九経連、九経局 2020.1月設立〉



■2023.11 大潤發(台湾)
・協議会初の非日系企業との現地フェア
・実施20店舗



■2023.11
イオン マレーシア
〃 カンボジア
・実施6店舗



■2024.1(香港)
ﾃﾞｨﾘｰﾌｧｰﾑ
・実施20店舗



■2024.2~4
PPIH(米国)
・カルフォルニア・ハワイ
16店舗

● 農業体験者の拡大

(援農マッチングアプリ)



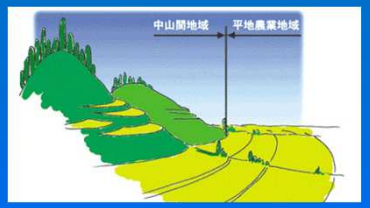
農業従事者の
平均年齢 68.4歳



■ マッチングアプリ「daywork」活用
副業・ボランティアでの労働力支援
企業研修への農業研修導入など
(実績:19名/2社)

● 中山間地の営農支援

(中山間地スマート農業モデルづくり)



九州の中山間地域
農業経営体数の5割、
水田面積の4割

■ 2024.3「スマート農業導入モデル」策定
鹿児島県での現地調査を通じ、
・労働時間削減効果
・収支シミュレーション
・生産者メリット
を見える化



2024計画

結果

❶ 九州フェア商談実施 20件
(台湾6件、マレーシア3件、カンボジア3件、香港6件、米国2件)

❷ 援農アプリの活用 19名/2社
企業研修への農業研修導入 1社

❸ 鹿児島県への中山間地向け
スマート農業導入による
経営改善推計指標の提案完了

活動

上記フェアの継続(九州各県出品拡大)等、官民共同プロモーション

農業参入支援の第一歩
→域外域内企業の農業体験
マッチング等による参入支援継続

上記モデルの九州各県への展開
(新規)耕作放棄地の活用モデルの検討

KPI

九州フェア開催5ヵ国・地域

農業への労働力支援企業3社

スマート農業モデル活用事例3件

3 ジェンダー主流化

2023取組報告

KPI

❶ 企業版ジェンダーギャップ指数の観測協力企業数(従業員 101 人以上)会員の 50%

❷ ジェンダー平等推進のためのあるべき法整備に関する提言とりまとめ

● オール九州での議論・機運醸成

■ 2023.8 九州地域戦略会議・ 第20回夏季セミナーにて、オール九州での議論実施



「ジェンダー主流化」
あらゆる分野で“公平なのか”
「リ・デザイン」
女性活躍施策の停滞感、施策全体の名称変更含む検討
「トップのコミットメント」
男性育休取得100%等、メッセージを打ち出す

■ ジェンダーギャップ指数を公表

2022 「九州版」(KGGI)を公表、九州・各県単位で見える化
2023 「企業版」(EGGI)を公表、各企業単位で見える化

● 提言・ネットワーキング

■ 2024.1 女性活躍推進団体間の意見交換会
各県同士の取組を知り、施策間・地域間連携を推進

(一社)沖縄県経営者協会 女性リーダー部会
ながさき女性活躍推進会議

■ 女性が(望み通りに)働き続けられる九州へ
「提言」へのテーマ・課題整理

※ 2023.10 国により適用開始
「年収の壁・支援強化パッケージ」

男性 子育て参加
男性育休
年収の壁

結果

❶ 会員の39%(261社・団体)

❷ 有識者4名へのヒアリングより、提言すべきテーマ決定(男性の子育て参加、年収の壁)

2024計画

活動	地方・九州目線でのジェンダー平等推進のためのあるべき法整備に関する提言	・女性管理職ネットワーク「WE-Net福岡」の九州広域化 ・女性活躍推進団体間の意見交換会	九経連活動への更なるダイバーシティ視点の取り込み(本会の全企画部会等への女性管理職の参画促進)
KPI	提言公表(12月)	WE-Net「九州」研修会スタート(2025年1月)	10名以上の参画

4 九州MaaS

2023取組

KPI 九州MaaSのグランドデザイン、並びに協議会設立計画の承認

● 九州の官民広域連携への取りまとめ（地域公共交通ネットワークの維持及び観光活性化へ）

■ 2023.5 九州地域戦略会議

グランドデザイン承認



Kyushu MaaS Grand Design
2023.5.31 九州地域戦略会議 九州MaaSプロジェクト

- サービスプラットフォーム運用
- フィジカル連携推進
- データ利活用推進
- ナレッジ集約、人材確保・育成

■ 2023.10 九州地域戦略会議

事業と運営の具体的方向性を決定

① 当面の事業の方向性
② サービスプラットフォームベンダー
③ 官民費用負担の基本的枠組み
④ 運営主体の設立時期

課題解決
- 多様な移動手段を繋げ統合する新たな交通インフラの構築
- 利用者減少幅を縮減する新たな需要創出
- 長期滞在・域内回遊に資する情報提供とシステム環境の整備
- 観光施設や他のサービスとの連携による需要取込最大化

結果

グランドデザイン「承認」（2023.5月）
- 7月、九州MaaSプロジェクト研究会を、「実行組織準備会」へ移行（7～3月/全9回）

九州MaaSの事業と運営の具体的方向性「承認」（2023.10月）
- 2024.3.11「九州MaaS協議会」創立総会





2024計画

活動	「九州MaaS協議会」設立、事務局としての業務遂行（補助金申請、各種契約、中期事業計画の策定、参画者の拡大の取組等）	サービス開始、プロモーション活動、インバウンド向け商品等の新規商品の企画・設定の推進	新しいモビリティ（自動運転等）の導入支援によるモビリティネットワーク構築の促進
KPI	設立総会開催（4月） 実装に向けたWG体制構築・活動開始	九州MaaSサービス開始（8月頃） 広域周遊促進につながる商品の発売など九州一体のサービスを開始	自動運転実証・実装案件 3件（～2026年度累計）

5 防災・減災DX

2023取組報告

KPI 防災・減災システムのデータ連携のパイロットプロジェクトの企画・立案

● 広域連携の実証（災害情報活用の高度化、共同利用）





■ 大分・宮崎県境PoC※検証
■ 全県合同勉強会 ※概念実証
（8.11・1・3月）
〈大分県・災害情報活用
プラットフォーム「PREIN」〉



×

■ 2023.8 九州防災DX
タスクフォース発足
（民間推進チーム）

パートナー企業
コアメンバー
一般社団法人 九州経済連合会
東京海上日動
SAP
INSPIRATION+
I-Resilience

×

● 産業(特に半導体)を支える災害対策

■ 雷による瞬低・瞬停リスク低減へ
落雷予測技術の有効性検証



結果 広域連携 実証 1件 （期待される効果：災害リスクの早期予測と早期防災対策判断、安全な避難所の開設 等）
半導体工場ヒアリング 3社（ニーズ：「雷の危険をもたらす積乱雲」について2時間以内の高精度予測 等）

2024計画

活動	災害情報活用における広域連携のためのPoC実施 （災害時の道路・河川の状況共有、県境またぐ避難所の相互利用等）	上記タスクフォースの会員リソースを活用したサービスの企画・検討 （新たな防災領域や、パーソナルデータ活用のサービス/QDPと連携）	上記検証事業を継続し、実証案件の創出を図る
KPI	広域連携の実証2件以上 （PREINを活用した自治体間における災害対策の高度化）	企画・PoC準備1件 （南海トラフ地震を想定した初動対応［避難関連］のデジタル化構想）	予測情報ｻｰﾋﾞｽ実証5社

6 ツール・ド・九州

2023取組報告

KPI ツール・ド・九州をフックとした地元自治体と各ステークホルダーとの協業マッチング 3エリア

2023.10.6～9 第1回大会 開催

- 開催県　福岡・熊本・大分の3県(18市町村)
- コース　全走行距離426km、獲得標高8,211m
- カテゴリー UCIアジアツアー2.1(クラス1)
- 参加者　18チーム(国内10, 海外8)、選手104人
- 観客数　88,300人
- YouTube 26.7万回
- 経済波及効果 26.1億円











結果 協業マッチング 3エリア
(次世代を担う若者の地域理解： 探究学習プログラム「locus」へ、福岡・熊本・大分の高校生15校623名参加)

2024計画

2024.10.11～14 第2回大会 開催

活動
- (一社)ツール・ド・九州の活動支援、
  持続可能な大会開催のための運営サポート
- 開催自治体や各ステークホルダーによる
  地域活性化事業の協業サポート

KPI 新たな地域活性化事業の実施 x 開催3エリア
2025大会の開催県の拡大



7 構造的な賃上げ 経済好循環の実現に向けて

2023取組報告

※期中着手事業※

● 機運醸成

■ 2024.2 九州経済四団体が共同宣言、プレスリリース



①「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」（内閣官房及び公正取引委員会、2023.11）の遵守徹底
②「パートナーシップ構築宣言」の趣旨の徹底と、宣言への参画を会員企業等に広く呼びかける
③適正価格での最終消費者への提供について社会全体の理解のより一層の促進
など、九州地域の各県と協働しながら取り組む

■ 2023.5 取引適正化推進フォーラム 福岡大会

福岡県商工会議所連合会を中心に、福岡県内の産官労23団体が参加して開催され、九経連としても協力



■ 2024.3 九州経済懇談会（経団連との昼食懇談会）

経団連など経済三団体による「構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けた要請（2024.1）」に呼応する形で、左記の宣言を行ったことを報告し、オールジャパンでの構造的賃上げ機運を醸成



2024計画

活動	九州地域戦略会議への九州経済四団体共同による取引適正化への取組報告、及び九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ	九州の経済四団体との連携による、構造的賃上げに向けた広報周知活動の実施
KPI	九州全県での支援制度拡充	